



菊池 巳喜男 議員 (遠野令和会)

一問一答方式

地籍調査の早期完了を 目指していくべきではないか

市長 国からの財政面の支援を強く要望し
早期完了を目指す

問.....

地籍調査の現況と今後の計画、そして完了の見込みは。

答 (市長).....

小友町と宮守町が完了し、進捗率は87・4%であり、令和7年度までに90%まで進めて行きたい。岩手県においては、21市町村が完了し、県全体では86%の進捗率である。

問.....

地籍調査により山林や原野の環境問題の解決に至るところも大きいのではないかと。遠野市では、山林や原野の開発行為の適正化が条例化されているが、条例を迅速に実施するためにも地籍調査を迅速に進めることも肝要と考えるが。

答 (市長).....

地籍調査事業は、土地の取引の円滑化、土

その他の質問

- 日本、RCEP協定に署名、どうなる遠野の産業を取り巻く環境はについて

問.....

現在、出荷規制がかかっている野生きのこや山菜はどうなっているのか。

答 (市長).....

市内では「ヌメリイグチ」という野生きのこが放射性物質の基準値を超えていることに

野生きのこの 出荷規制解除の取り組みは

市長 出荷基準の見直しや緩和に
声を出していく必要がある

より野生きのこ全種類が出荷制限となっている。また、山菜では「コシアブラ」のみが出荷できない状況である。従って、山菜はそれ以外、産直等における販売が可能である。

問.....

今後、出荷規制解除に向けて、どのような取り組みを行っているか。

答 (市長).....

出荷解除に向け引き続き検査等を実施していく。また、出荷基準の緩和に向け声を出していく必要があるのではないかと考えている。



地元産マツタケを待ち望む産直ともちゃん

任期5期目の3年間と、 残り1年の市政は

市長 10の公約を示し
着実に実施してきた

問.....

来年10月が任期満了だが、この3年間の公約の実行度・達成度、評価について伺う。

答 (市長).....

「直ちに取り組む緊急優先5課題」と「現在進行形の5事業の計画とプロジェクト」の2つを柱に、10の公約を示して取り組みながら着実に各種事業を実施してきた。

問.....

残り1年弱の任期でのまちづくりや取り組みについて伺う。

答 (市長).....

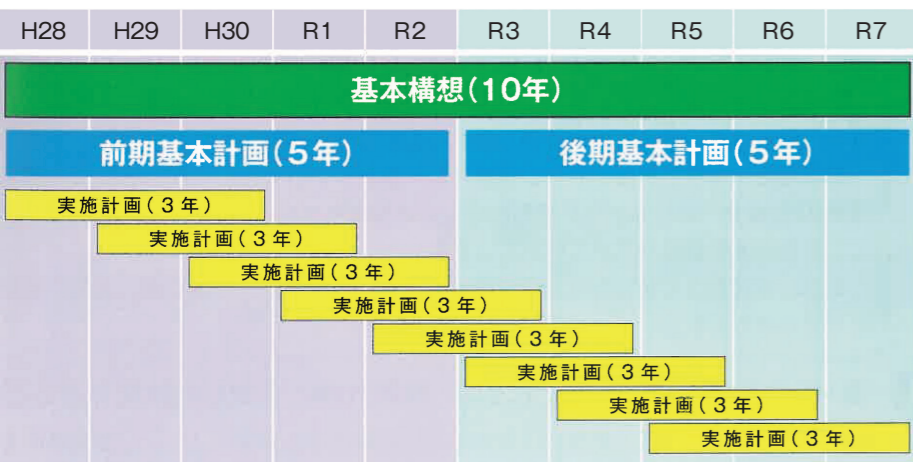
中心市街地活性化など道半ばという状況もある。市民のニーズにタイミングを失しないよう、残りの任期を座右の銘の「全力投球」・「誠心誠意」で市政課題に向き合っていきたい。

問.....

第2次総合計画・後期計画策定への思いや決断を伺う。

答 (市長).....

6つの策定方針を掲げ、ワーキンググループや総合計画審議会など各方面の意見を可能な限り反映させた。高度情報化の進展、異常気象による災害の頻発、新型コロナウイルス感染症に象徴される新たな脅威の直面で、今後5年間でどのようなまちづくりを進めることができるか、先行きの見通しが非常に難しくな



平成28年度から令和7年度までの遠野市総合計画の流れ (基本構想10年、前期・後期各5年) 毎年度見直し

東北DC(DESTINATION CAMP)の 認識や観光施策は

市長 極めて重要な
観光キャンペーンである

問.....

来年4月から9月にかけて、東北6県を行き先・目的地にした東北DCが開催されるが、その認識や震災10年目での意義を伺う。

答 (市長).....

復興に向けて歩む東北の姿を見てもらうこと、東北の観光ブランド化の推進と誘客促進、地域活性化が位置づけられ、落ち込んだ観光産業の回復に向けて極めて重要なキャンペーンと認識する。

問.....

東北DCへの準備状況や、更なる観光施策の充実について伺う。

答 (市長).....

観光推進協議会とともに、JRR東日本や県などと連携し観光資源の発掘や発信、新しい観光メニューの創出などを進めてきた。様々な観光資源に磨きをかけ、地域の魅力を増やすことが大切である。

